



連携いわい

令和7年12月
第49号
岩手県立磐井病院

『第5回市民講演会（一関市医介連研修会）』を開催しました



今年で5回目となりました「磐井病院市民講演会」を、一関市医療と介護の連携連絡会（通称：医介連）との共催で10月18日（土）に開催しましたのでご報告します。

今回は、市民の皆さんからリクエストの多かった「脳卒中」をテーマとして、『親が脳卒中になったら あなたはどうしますか？』と題し、脳卒中への取り組みや患者さんへの対応、予防などについて、急性期～在宅までそれぞれの役割を担う4施設の講演としました。

脳卒中発症後の入院については、磐井病院：川守田参与兼第1脳神経内科長が【急性期病院】での診療や予防を、国立病院機構岩手病院：斎藤副院長からは【回復期病院】での医療の役割をご説明いただきました。

また、退院後について、【施設入所した場合】の老健施設でのサービスやリハビリの工夫を介護老人保健施設さわなり苑：佐々木主任理学療法士から、【在宅介護の場合】のケアマネージャーの関わりや実際の事例をいこい居宅介護支援平泉事業所：千葉介護支援専門員よりお話しいただきました。

当日は、一般の方及び医療・介護福祉関係者を含め84名の参加があり、各演者の熱心な説明で予定時間を超えての講演となりましたが、アンケートでは「一連の流れに沿った内容で、とても分かりやすかった」「演者の説明が聞きやすく良かった」「対応が必要になる事項、意識すべきことが理解できた」など大変好評でした。

市民講演会は今後も毎年開催予定ですので、テーマについてのご意見・ご要望がありましたら、皆さまの声をぜひお寄せください。

【ご意見・ご要望はこちらまで】

●病院代表メール：EA1007@pref.iwate.jp ●地域連携室FAX番号：0191-21-3990（直通）

<岩手県立磐井病院 理念>

地域と連動し、患者さん中心の、質の高い、安全な医療を提供します。

<岩手県立磐井病院 診療基本方針>

- 1.患者さんの安全性を最優先とした医療を行います。
- 2.患者さんの心理的安全性に配慮して医療を行います。
- 3.十分な説明を行い、同意に沿った医療を提供します。
- 4.多職種が協働し、最新で専門性の高い医療を目指します。
- 5.地域の施設と連動し、患者さんの診療・生活をサポートします。
- 6.最新技術を駆使して、利便性のよい医療を目指します。

Contents

- 第5回「市民講演会」を開催しました…1
- 認定看護師から『痛みの評価で困っていませんか？』…2・3
- 『第17回両磐地域緩和ケア医療従事者研修会』（開催報告）…3
- 公開クリニカルパス大会（開催報告）…4
- 年末年始の診療体制について…4

『痛みの評価で困っていませんか？』

がん看護専門看護師 千葉美穂

●『痛いと言わないから痛みはない？』『認知力低下しているから痛みを感じない？』

決して、そうではありません

高齢のがん患者さんでした。「痛い」と言葉で表現することがなかったため、痛みは落ち着いているのではないかと医療者側は評価していました。徐々にせん妄症状がひどくなり、その対応に日々悩むという状況でした。振り返ってみると、画像上は、疼痛が出るような病態であり、「痛い」ことを医療者側がキャッチできていれば、せん妄症状もひどくならなかつたのかもしれません。

特に高齢者は、認知機能低下や意識障害によって、痛みをうまく訴えられなくなることもあります。むしろ過度に痛みを訴える場合もあるため、身体所見、検査所見などから慎重に評価し、対応することが大切です。

●痛みの強さの評価法

コントロールされていない痛みがあることで、引きこもりがちになったり不穏を生じたりすることもあるため、しっかりとした評価を行い適切に痛みの治療を行うことが重要です。

認知機能が低下している方の痛みの評価では、主観的な評価（下記①～③）を基本としつつ、観察者による客観的な評価も重要となります。中等度以上の認知症患者で自己評価が難しい場合には、アビーネスケール（下記④）が活用できます。

【主観的な評価法】

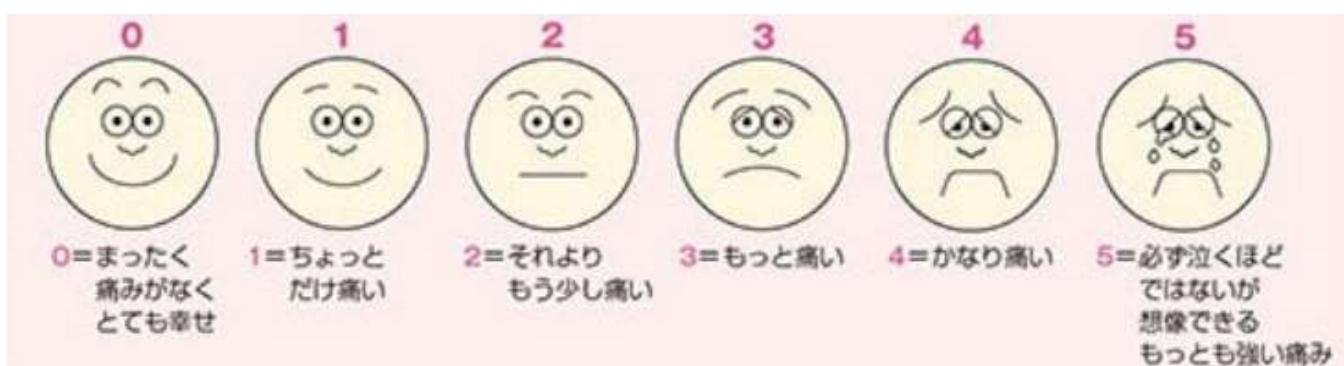
① Numerical Rating Scale (NRS)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

② Verbal Rating Scale (VRS)

痛みなし 少し痛い 痛い かなり痛い 耐えられないくらい痛い

③ Faces Pain Scale (FPS)



【客観的な評価法】

- ④ 日本版アビー痛みスケール(言葉で表現することができない認知症の方の疼痛)

●観察しながら問1~6に点数をつけてください

	0	1	2	3	計
問1:声をあげる 例)しくしく泣いている、うめき声をあげる、泣きわめいている	なし	軽度	中程度	重度	
問2:表情 例)緊張してみえる、顔をしかめる、苦悶の表情をしている、おびえて見える	なし	軽度	中程度	重度	
問3:ボディランゲージの変化 例)落ち着かずそわそわしている、体をゆらす、体の一部をかばう	なし	軽度	中程度	重度	
問4:行動の変化 例)混乱状態の増強、食事の拒否、通常の状態からの変化	なし	軽度	中程度	重度	
問5:生理学的变化 例)体温、脈拍または血圧が正常な範囲外、発汗、顔面紅潮または蒼白	なし	軽度	中程度	重度	
問6:身体的変化 例)皮膚の損傷、圧迫されている局所がある、関節炎、拘縮、障害の既往	なし	軽度	中程度	重度	
総合疼痛得点					

●総合疼痛得点にしをつけてください

0-2 痛みなし 3-7 軽度 8-13 中程度 14以上 重度

磐井病院では、緩和ケアチーム（症状緩和）、オレンジサポートチーム（認知症ケア）が活動しております。痛みをうまく表出できない方など、痛みの評価や関わりでお困りの場合は、遠慮なくご相談いただければと思います。

第17回『両磐地域緩和ケア医療従事者研修会』

「地域がん診療連携拠点病院」が毎年実施する標記の研修会を、11月15日(土)に開催しました。

今年は院内外で計10名（医師5名・理学療法士1名・薬剤師1名・看護師3名）と比較的少ない受講でしたが、ファシリテーター（講師スタッフ）に様々な質問が出来たり、グループワークでもリラックスした雰囲気の中で意見交換できたりと、少数のメリットが活かされた会となりました。

上記のほかにも、放射線技師、ソーシャルワーカー（MSW）など、毎年様々な職種の方が参加されておりますので、ご興味のある方は次年度のご参加をお待ちしております。

【研修概要】

- 対象は医師に限らず、がん診療に携わる医療従事者であればどなたでも受講可能です。
- 「インターネットでの事前学習」+「集合研修1日」で、受講しやすい形になっています。
- 集合研修では、疼痛コントロールや終末期医療、地域医療などを含む幅広い内容を学ぶことができます。
- 受講料は無料です。※昼食代のみいただきます

(地域医療福祉連携室)



公開クリニカルパス大会

令和7年11月21日、磐井病院公開クリニカルパス大会を開催しました。ZOOM配信とのハイブリッド開催で、院内外から約100名と多数の方にご参加いただきました。

院内発表では、4東病棟看護師 角城結女さんより『I泊経過入院パス～運用状況と課題～』、耳鼻いんこう科長 斎藤雄太郎先生より『胃瘻造設パスへの嚥下機能評価の組み込みによる臨床的意義と効果の検討』として計2題の発表がありました。特別講演では、東京医療保健大学 学長特別補佐／教授の瀬戸僚馬先生より『クリニカルパスと診療記録』と題して、AI時代に合った構造化データで表現できる記録の必要性や、行為に対して医療者の意図を明確にする記録が求められていること等お話しいただきました。

当院だけでなく、多くの医療機関は増加する記録の負担、多職種協働の広範化・複雑化といった課題を抱えています。パスはそれらの課題を改善する糸口として非常に有効なツールであり、チーム医療の充実にも寄与します。当院では、今後も医療の質向上を目的としてパス活動を推進して参りますので、今後ともご支援賜りますようお願いします。

(クリニカルパス委員会)



年末年始の診療体制について

今年度はカレンダーの並びから、下記9日間が全科休診（救急診療体制）となります。救急へのご紹介の際は、救急室へ電話でのご連絡をお願いいたします。

【休診期間】

12月27日(土)～1月4日(日)



岩手県立磐井病院

【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17
電話(0191)-23-3452
Fax (0191)-23-9691
連携室直通 Fax (0191)-21-3990

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室
病院ホームページ：<http://www.iwai-hp.com>